

「一般社団法人 日本ロボット教育推進機構」について

一般社団法人 日本ロボット教育推進機構(英名：Japan Robotics Education Promotional Organization、略称：J-REPO)は、米国のロボット競技会 FRC2015 に参加した”Tokyo Technical Samurai”の一期生である江口壮哉を代表理事とし、同じく一期生である大西祐輝、原田英将を理事として平成27年11月4日に設立された非営利型の一般社団法人です。当法人は日本国内において、中高生を対象とした、ロボット教育を始めとする技術的な教育の普及に寄与することを目的としており、以下のような事業を行います。

事業内容

1. ロボット競技会(FRC)の広告及び普及活動

FRC(正式名称：FIRST Robotics Competition)は米国のNPO法人FIRSTが開催している、高校生のための国際的なロボット競技会です。当法人がこの大会を推薦する理由としましては、

- ・ロボットの規格が大きく高校生にとって貴重な体験である
 - ・ロボットを製作するだけに留まらず資金集めや広報といった活動が必須になるため、技術者になるための幅広いスキルを習得できる
- といったものが挙げられます。

2. 上記大会に参加するチームの支援

FRCへの日本からの参加には様々な壁があり、決して容易ではありません。それでも、1人でも多くの日本の高校生がこの大会へ参加して、多くのことを学んでほしい。そんな願いから当法人は、FRCへの参加を希望する高校生を応援して参ります。

3. 中学生及び高校生に対するロボット教育の推進

決してFRCへの参加支援だけが当法人の掲げる教育活動ではありません。中高生を対象とした工作教室や講演会などを、企業の皆様と協力しながら企画していきたいと考えております。

4. 前各号に掲げる事業に付帯又は関連する一切の事業

また今年度の事業の一環として、第二期”Tokyo Technical Samurai”をモデルチームとして採用し、FRC2016への参加に対する支援を行って参ります。

※当法人の事業計画年度は、各年9月1日から翌年8月31日です。

お問い合わせ先：jrepo.tech.org☆gmail.com ☆→@